

## 第2号議案 2017年度事業報告書

### 一 理事会・三役会・事務局

近年、福祉ニーズの変化等に伴い、社会福祉士の活躍の場は、高齢者支援、障害児・者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援といった分野のみならず、教育や司法などの様々な分野に広がってきている。一方、国は子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合うことが出来る「地域共生社会」の実現に向けて、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながらくらすことのできる仕組みの構築が掲げられている。

こうした中、社会福祉士には、ソーシャルワークの専門職として、地域共生社会の実現に向け、多様化・複雑化する地域の課題に対応するため、他の専門職や地域住民との協働、福祉分野をはじめとする各施設・機関等との連携といった役割を担っていくことが期待されている。

地域共生社会の実現に向けて求められるソーシャルワークの機能やその中で社会福祉士が担うべき役割、多様化・複雑化する地域の課題に対応できる実践力の強化が求められている。

- 1) 会員数 2018年3月31日 現在 673名 <前年比19名増>  
(2017年3月31日 時点 654名)  
※2018年4月14日 現在会員数 **672名**

- 2) <総 会> 5月13日(土)  
記念講演 猪飼 周平氏  
「地域包括ケアシステムの深化とソーシャルワークへの期待について」  
<臨時総会> 11月5日(日) 補正予算承認のため  
記念講演 日本社会福祉士会小笹事務局長  
「認定社会福祉士を目指そう！」

- 3) <理事会>
- |      |       |           |                |
|------|-------|-----------|----------------|
| 第 1回 | 2017年 | 4月15日(土)  | 於：社会福祉会館3階研修室  |
| 第 2回 | 2017年 | 6月24日(土)  | 於：社会福祉会館3階研修室  |
| 第 3回 | 2017年 | 9月 9日(土)  | 於：社会福祉会館3階研修室  |
| 第 4回 | 2017年 | 10月 9日(土) | 於：アスト津3階交流スペース |
| 第 5回 | 2018年 | 1月 8日(月)  | 於：社会福祉会館3階研修室  |
| 第 6回 | 2018年 | 2月12日(月)  | 於：社会福祉会館3階研修室  |
| 第 7回 | 2018年 | 3月25日(日)  | 於：社会福祉会館3階研修室  |

- 4) <三役会> (総務委員会)
- |      |       |           |               |
|------|-------|-----------|---------------|
| 第 1回 | 2017年 | 4月 9日(日)  | 於：社会福祉会館4階事務局 |
| 第 2回 | 2017年 | 5月23日(火)  | 於：社会福祉会館4階事務局 |
| 第 3回 | 2017年 | 6月20日(火)  | 於：社会福祉会館4階事務局 |
| 第 4回 | 2017年 | 7月15日(土)  | 於：社会福祉会館4階事務局 |
| 第 5回 | 2017年 | 8月21日(火)  | 於：社会福祉会館4階事務局 |
| 第 6回 | 2017年 | 10月 3日(火) | 於：社会福祉会館4階事務局 |

- 第 7回 2017年11月 4日(火) 於：社会福社会館4階事務局
- 第 8回 2017年12月21日(木) 於：社会福社会館4階事務局
- 第 9回 2018年 2月 7日(水) 於：社会福社会館4階事務局
- 第10回 2018年 3月20日(火) 於：社会福社会館4階事務局

- 5) みえソーシャルワーカーデー記念事業 7月17日(祝・月) 海の日実施 70名参加
- 6) 社会福祉士全国統一模擬試験 10月10日(祝・月) 51名参加
- 7) 実習指導者講習会 1月27日(土)、28日(日) 24名修了
- 8) 一泊研修(尾鷲市) 10月28日(土)~29日(日) 32名(初日参加者)
- 9) 東海4県連絡会議 7月29日(土)(於：静岡)、  
12月10日(日)(於：愛知県社会福祉士会)、  
3月11日(日)(於：愛知県社会福祉士会)
- 10) 事務局からのお知らせ 発信7回(5月、6月、9月、10月、1月、2月、3月)
- 11) 日本社会福祉士会  
6月17日(木) 総会、9月2日(日)~3日(月) 会長会議、  
3月17日(土) 臨時総会、2月24日(土) 事務局職員連絡会議

## 二 受託事業

### 1 <地域生活定着支援センター>

- 地域生活定着支援センターの受託を開始して8年が経過しました。当初は、行政や社会福祉施設等に受け入れを依頼しても、再犯のリスクはないか、もともと地域に住んでいなかった人を受け入れる理由がない等々の意見がよく返ってきましたが、今日では、かなり、受け入れ状況が改善されました。実際、当センターが帰住を支援した人の中で、再犯に至った人はほんの数%にすぎず、生活の安定と人との関わりの回復が犯罪の防止にも役立つと認められてきたことも、その背景にあると思います。2017年度の支援実績は次の通りです。

- 支援実績

2017年度に新たに特別調整対象者として受理した件数は18件。特別調整対象者で県内に帰住させた件数は11件。その他一般調整対象者が1件。相談のうち釈放と同時に生活の場を整えた件数が1件でした。

フォローアップとして、県内に帰住後も生活安定等のために支援した件数は25件でした。

相談ケースは新規が7件。昨年度からの継続が5件で、計12件でした。

特別調整対象者の件数は昨年度に比べ少なくなっています。フォローアップや相談の件数に大きな差はありません。

啓発事業については1回広報紙「つながり」第10号を発行しました。

	特別調整対象者		特別調整終了			一般調整対象者 ( )内調整済	新規相談 ( )内は帰住 調整したもの	県内帰住先 (出所直後)
	津保護観察 所から	他都道府県セ ンターから	県内 帰住	県外 依頼	辞退 等			
2010 年度	1 3 高齡 6 身体障害 3 知的障害 3 精神障害 1	1 知的障害 1	4	3		1 (1) 高齡 1	3 (2) 高齡 1 知的障害 1 その他 1	救護施設 2 病院 1 障害施設等 1 住宅 1 自宅 1 他 1
2011 年度	6 高齡 3 知的障害 2 精神障害 1	3 高齡 3	8	2	1	2 (2) 知的障害 1 精神障害 1	3 (2) 知的障害 1 精神障害 1 その他 1	救護施設 4 障害施設等 4 住居 2 自宅 1 自準ホ 1 高専賃 1
2012 年度	7 高齡 2 知的障害 4 精神障害 1	3 高齡 2 知的障害 1	9	4	1	3 (2) 高齡 1 知的障害 2	9 (2) 高齡 3 精神障害 6	救護施設 5 障害施設等 2 住居 1 病院 1 自宅 2 婦保護 1 他 1
2013 年度	1 4 高齡 8 知的障害 4 精神障害 2	4 高齡 2 知的障害 1 精神障害 1	9			1 知的障害 1	6 (3) 高齡 2 知的障害 4	救護施設 6 障害施設等 4 住居 1 他 1
2014 年度	16 高齡 8 身体障害 3 知的障害 1 精神障害 2 発達障害 1 その他 1	5 高齡 3 身体障害 1 精神障害 1	18	1	3	1 知的障害 1	1 2 (4) 高齡 5 身体障害 1 知的障害 4 精神障害 2	救護施設 6 障害施設等 6 住居 4 養護老ホ 1 自立準備ホ 2 自宅 3
2015 年度	1 5 高齡 9 知的障害 2 精神障害 2 発達障害 1 その他 1	4 高齡 3 知的障害 1	1 5	1	1		7 (2) 高齡 6 精神障害 1	救護施設 4 障害施設等 1 有料老ホ 1 住宅 1 自宅 1 自立準備ホ 1 病院 1 サ高住 3 更生施設 3 児援ホ 1
2016 年度	1 8 高齡 1 1 身体障害 1 知的障害 5 精神障害 1	5 高齡 2 身体障害 3	1 3	4	1	2 知的障害 1 精神障害 1	6 (1) 知的障害 3 精神障害 2 発達障害 1	救護施設 5 自宅 1 住宅 5 障害施設等 2 自立準備ホ 1
2017 年度	1 2 高齡 6 知的障害 4 精神障害 1 発達障害 1	6 高齡 4 知的障害 1 精神障害 1	1 1	2	0	1 (1)	6 高齡 1 知的障害 4 精神障害 1	救護施設 1 自宅 2 更生保護施設 住宅 1 自立準備ホ 5 養護老人ホ 1 その他 1

## 2 特定相談支援事業所

- ・前年（2016年度）の実績総件数は70件で、今年度は118件であった。約1.7倍の相談件数の増加となった。
- ・成人の新規件数は7件であった。その内の5件は定着以外からの相談で司法福祉関係が2件と生活困窮が1件であった。
- ・児童の新規件数は10件であった。その内の4件が放課後等デイサービスで残りは児童発達支援であった。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
成人	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング
	回数	5	6	5	6	4	4	7	3	3	7	3	3	56
	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
	回数	1	-	2	1	3	3	-	3	1	1	1	1	17
児童	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング
	回数	1	2	2	3	4	6	4	1	2	3	2	1	31
	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
	回数	1	1	1	2	1	-	-	3	1	-	-	4	14
縦計		8	9	10	12	12	13	11	10	7	11	6	9	118

## 三 各委員会事業報告

### 1 <権利擁護センター ぱあとなあみえ>

### 2 <生涯研修センター運営委員会>

- 1) 基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを実施した。
- 2) 基礎研修講師予定者を養成した。
- 3) 分野専門研修（認証研修）の実施を検討し、リーガルソーシャルワーク研修の実施に向け

て、司法と福祉の委員会を立ち上げた。

- 4) スーパービジョンの実施体制の整備についてスーパービジョン運営委員会を立ち上げ、課題を整理した。
- 5) ブロック活動について助成金（基本助成及び研修助成）による活動支援を行った。
- 6) ブロック活動について意見交換会を実施し、今後のブロック活動の在り方と支部化に向けた課題性を行った。

事業名	日 時	会 場	参加者数等
基礎研修運営委員会	毎月第1月曜	松阪市民活動センター	運営委員 15名
基礎研修Ⅰ	① 9月10日（日）	アスト津	31名修了
	② 1月14日（日）	三重県社会福祉会館	
基礎研修Ⅱ	① 5月21日（日）	三重県社会福祉会館	16名修了
	② 6月18日（日）		
	③ 7月16日（日）		
	④ 8月20日（日）		
	⑤ 10月15日（日）		
	⑥ 11月19日（日）		
	⑦ 12月17日（日）		
	⑧ 1月21日（日）		
	⑨ 2月18日（日）		
	⑩ 3月18日（日）		
基礎研修Ⅲ	① 5月28日（日）	三重県社会福祉会館	9名修了
	② 6月25日（日）		
	③ 7月23日（日）		
	④ 8月27日（日）		
	⑤ 9月24日（日）		
	⑥ 10月29日（日）		
	⑦ 11月26日（日）		
	⑧ 12月24日（日）		
	⑨ 1月28日（日）		
	⑩ 2月25日（日）		
基礎研修講師養成研修（大阪会場）	2017年 月 日		10名修了

生涯研修センター運営委員会	2017年7月15日 (土) 2017年8月12日 (土) 2017年10月9日 (土) 2017年11月11日 (土) 2018年1月8日 (月)	三重県社会福祉会館	委員 10名
スーパービジョン運営委準備会	2018年2月11日 (日)	三重県社会福祉会館	SV登録者・理事 6名
ブロック代表者会議	2017年9月9日 (土) 2018年2月12日 (月)	三重県社会福祉会館	代表者・理事

### 3 <地域包括支援センター委員会>

三重県健康福祉部長寿介護課からの受託事業として、三重県地域権利擁護支援事業研修を開催しています。養介護施設従事者等による虐待事案が増加していることを勘案し、9月に日本社会福祉士会が開発した高齢者施設虐待対応現任者標準研修を県からの受託事業として開催し、虐待対応に携わる市町及び地域包括支援センター等の職員に周知しました。また、2月に開催した高齢者虐待防止基礎研修では、法の解説として講師に三重弁護士会、虐待対応については、あい権利擁護支援ネットの川端伸子氏をお招きし、施設・行政の両者の視点から学ぶ講義とし、受講者から好評を得ました。

事業名	日 時	会 場	参加者数等
○委員会	毎月1回開催 19時30分～21時	アスト津	委員15名
○三重県地域権利擁護支援事業研修			
・市町管理職・担当職員研修	7月21日(金) 13時30分～16時	三重県吉田山会館	53名
・専門研修(高齢者施設虐待対応現任)	9月7日(木)・14日(木)・21日(木)	三重県吉田山会館	1日目30名 2日目29名

者標準研修) ・高齢者虐待対応担 当者交流会 ・高齢者虐待防止基 礎研修	9時30分～16時50分 11月8日(水) 14時～16時 2月21日(水) 13時30分～16時30分	三重県津庁舎  三重県庁講堂	3日目27名 56名  223名
--------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	----------------------	---------------------------

#### 4 <高齢者・障がい者虐待防止委員会>

- ・高齢者・障がい者虐待防止チーム(以下「チーム」という)に20名の会員を推薦した。
- ・介護及び障がい者施設における第三者委員(以下「第三者委員」という)の報酬の目安を作成した。
- ・第三委員として、県内6施設に対して助言等を行った。  
(以下、チームの活動)
- ・経験交流会を3回開催した。
- ・チームと市町による契約により、会員が5市町に対して助言等を行った。

事業名	日 時	会 場	参加者数等
チーム会議(5回)	4月22日(土) 6月10日(土) 7月8日(土) 9月30日(土) 2018年 1月13日(土)	三重弁護士会館	11名 10名 9名 7名  12名
経験交流会	4月22日(土) 6月10日(土) 2018年 3月22日(水祝)	三重弁護士会館	11名 10名  13名
第3回「虐待対応専門職 チーム経験交流会」に参 加(主催:日本弁護士連 合会/日本社会福祉士 会)	9月16日(土)	弁護士会館2階 講堂「クレオ」A (東京都)	1名
現場のための障害者虐 待防止研修 施設従事 者編に参加(主催:日本 社会福祉士会)	11月18日(土)～ 19日(日)	タイム24ビル 14階研修室141 (東京都)	2名

## 5 <子ども家庭委員会>

- ・ほぼ、計画通りできた。昨年度からの課題であったスクールソーシャルワーカーとの連携については、引き続き情報を共有しながら連携を取っていく事とする。(スクールソーシャルワーカー研究会は会員のスケジュール調整が困難であった為、今年度の活動は無であった)
- ・子ども家庭委員会が学習を続けているテーマに沿った研修会を年度内に 2 回開催出来たことに大きな意義がある。
- ・フリーメールで情報共有しているが、出席率を上げる事が課題である。
- ・今年度の子ども家庭委員会入会者は 5 名である。

事業名	日 時	会 場	参加者数等
委員会 (含む 学習会等)	偶数月 第二土曜日 奇数月 第二日曜日 10:00~ 12:30	アスト津3階	5名~12名
子ども虐待防止推進月間事業 ルポライター杉山春氏を囲んで	10月14日(土)	じばさん三重5階 情報交換室	16名
家庭支援の課題と未来を考える/ワークショップ	2月17日(土) 10:00~ 12:30	三重県社会福祉会館 3階研修室	10名
地域の活動への参加	通年を通じて	各地域	会員の自主的活動
スクールソーシャルワーカー研究会	毎月1回	四日市なやプラザ	会員の調整がつかず 実施なし

## 6 <障がい福祉委員会>

- ・委員会参加が1名となり、まったく企画を検討することができなかった。  
よって11月に企画していた研修会は未開催となった。
- ・障がい福祉委員会に参画する会員を増やし、障がい福祉の現場で社会福祉士が直面している諸題を共有し、共に考え解決できるような企画を考えていく必要がある。
- ・ただ、委員会単独で企画することも大切だが、横断的なテーマがある場合は共同開催も検討すべき。



- ・講演会については生涯研修センターと連携して、会員にとって必要な企画にしていきたい。

事業名	日 時	会 場	参加者数等
委員会	6月24日(土) 10:00~	アスト津	1名
研修会「司会力をつける」	11月18日(土)	三重県社会福祉会館 3階研修室	未開催

## 7 <医療福祉連携委員会>

- ・ソーシャルワーカーデイの取り組みを通し、三重県社会福祉士会、三重県精神保健福祉士協会、三重県ソーシャルワーカー協会と顔の見える関係が構築できてきている。
- ・相談職のための実践力向上講座については、複数回の開催を予定していたが、準備不足で年度末に一回開催するだけとなってしまった。また、委員会のメンバーが非常に多忙で、委員会として集まる時間の調整も難しく、組織としての見直しが必要と考えられた。そこで、講座後、交流会も開催し、今後の会活動に主体的に参加してもらえる会員を募り、一定の成果が見られた。

事業名	開催日時	会 場	参加者数
ソーシャルワーカーデイ 2017in 三重 「今、ソーシャルワーカー の魅力を伝えよう」	2017年 7月17日(月) 13:30~16:00	三重県社会福祉会 館3階講堂	
「医療・介護の現場で働く 相談職のための実践力向上 講座」	2018年 3月17日(土) 講座 10:00~12:00 交流会 12:00~14:00	三重県社会福祉会 館 3階 研修室3	講 座 24名 交流会 12名

- ・ソーシャルワーカーデイの取り組みを通し、三重県社会福祉士会、三重県精神保健福祉士協会、三重県ソーシャルワーカー協会と顔の見える関係が構築できてきている。
- ・相談職のための実践力向上講座については、複数回の開催を予定していたが、準備不足で年度末に一回開催するだけとなってしまった。また、委員会のメンバーが非常に多忙で、委員会として集まる時間の調整も難しく、組織としての見直しが必要と考えられた。そこで、講座後、交流会も開催し、今後の会活動に主体的に参加してもらえる会員を募り、一定の成果が見られた。

事業名	開催日時	会 場	参加者数
ソーシャルワーカーデイ 2017in 三重 「今、ソーシャルワーカーの 魅力を伝えよう」	2017年 7月17日(月) 13:30~16:00	三重県社会福祉会館 3階講堂	

## 8 <独立型社会福祉士支援委員会>

- 1 独立型社会福祉士支援委員会として組織体制を確立するための活動として、委員会並びに交流会を開催した。
- 2 独立型社会福祉士実践報告会を開催し、独立型社会福祉士各々の活動を支援するため、意見交換や情報交換を行い、会員相互のネットワークを深めた。
- 3 他県の独立型社会福祉士との情報交換や交流活動を行った。  
(第14回独立型社会福祉士全国実践研究集会への参加、本会会員から実践報告がなされた。)

事業名	日 時	会 場	参加者数等
(運営委員会)			
第1回 委員会	2017年7月8日(土)	三重県社会福祉会館 研修室	5名
第2回 委員会	2017年11月11日(土)	四日市市文化会館	5名
第3回 委員会	2018年1月13日(土)	三重県社会福祉会館 研修室	4名
(行事、研修会等)			
第8回独立型社会福祉士 実践報告会&交流会	2016年7月8日(土)	三重県社会福祉会館 研修室	5名
第14回独立型社会福祉 士全国実践研究集会	2017年11月25日(土) ~ 2017年11月26日(日)	関西大学 堺キャンパス	2名 (三重県会員)
第9回独立型社会福祉士 実践報告会&交流会	2018年1月13日(土)	三重県社会福祉会館 研修室	10名

--	--	--	--

## 9 <高齢者福祉委員会>

・三重県からの受託事業である「介護施設等における権利擁護推進員養成研修」の企画、準備、当日運営を担当。「高齢者権利擁護等推進事業実施要綱」に示された「標準的な研修カリキュラム例」をもとに、講義内容、講師陣の全面見直しを実施した。それに伴い、参加者数を90名から60名へ減らして募集を行ったが、参加申し込み総数は122名にのぼり、調整が必要となった。

・会員同士の交流、意見交換を目的として昨年度より開始した「SWカフェ」を2回開催。8月は鈴鹿、3月は伊勢に会場を移して実施した。鈴鹿会場は10名、伊勢会場は9名（ともに委員含む）と参加者数は依然として少ないが、参加者からは「これまで社士会の研修などには参加できていないが、今回は参加してみた。」という声もあり、懇親会も含めてネットワークづくりに寄与できた。

事業名	日 時	会 場	参加者数等
介護施設等における権利擁護推進員養成研修	2017年10月13日(金) 11月10日(金) 2018年1月19日(金)	三重県福祉会館2階大会議室	参加者61名 (修了証発行者55名) 申込総数122名
SWカフェin鈴鹿	2017年8月19日(土)	ホテルハイシティ会議室	10名
SWカフェin伊勢	2017年3月3日(土)	伊勢市観光文化会館小会議室	9名
委員打ち合わせ	2018年4月、5月、6月、7月、10月、12月、2018年2月(計7回)	アスト津三重県民交流センター交流スペース	4名

## 10 <地域福祉・相談部会>

- ・有志の準備委員が集まり、今後の地域福祉分野の活動に向けて意見交換を行った。
- ・当面は会員の交流事業を中心に企画し、生涯研修制度における研修実施に向けて、会員のニーズを探ることとした。

## 11 <災害福祉部会・委員会>

- ・災害福祉委員会を今年度立ち上げた。

- ・災害福祉委員会では、災害発生後の初期動作から復興途中、活動終了に至るまでの被災地への会員の派遣について費用の一部（正規ルートの旅費）を助成することができることが決められた。
- ・災害福祉委員会では、近隣の先進地の取り組み状況を視察することおよび東海四県の組織力を高める連絡会に参画した。
- ・災害福祉委員会では、県内の自組織の連携の強化だけでなく、先進県の取り組みから、他福祉関係団体、職能団体との横のつながり、ネットワーク化も重要であることを確認することができた。

事業名	日 時	内 容	会 場	参加者数等
東海四県社会福祉士会 会長・災害対策者連絡 会	7月29日（土） 15：00～ 17：00	・災害時に関する 覚書の協議 ・今後の相互支援 内容の確認	静岡県社会福祉士会 事務局	5名
東海四県社会福祉士会 会長・災害対策者連絡 会	12月10日 （土） 14：00～ 17：00	・災害時に関する 覚書の協議 ・今後の相互支援 内容の確認	愛知県社会福祉士 会事務局	5名
東海四県社会福祉士会 会長・災害対策者連絡 会	3月11日（日） 14：00～ 17：00	・災害時に関する 覚書の協議 ・今後の相互支援 内容の確認	愛知県社会福祉士 会事務局	3名
先進地機関、施設視察	7月29日（土） 13：00～ 15：00	・地震災害につい て過去の被害地 震、地震発生の歴 史、発生のメカニ ズム、今後の被害 想定などを学ぶ	静岡県地震防災セン ター	5名

## 12 <司法と福祉の部会・委員会>

### ・委員会設立の経緯について

2004年、元衆議院議員で秘書給与流用のため懲役に処せられた山本譲司氏の著書「獄窓記」が出版された。これによって福祉の支援がないために犯罪を繰り返すしか生きる道のない知的障がい者や高齢者の存在がクローズアップされる。以来、2006年に開始された「罪を犯した障がい者の地域生活支援に関する研究」、2009年に開始された「地域生活定着支援事業（現地域生活定着促進事業）」等、司法と福祉の連携が強化されて劇的に再犯率が低下。しかしながら地域生活定着支援センターの支援対象とならない矯正施設退所者の存在や、初犯に至るまでの支援が大きく変わっていないこと等、現在も多くの課題が残る。

山本譲司氏の著作が脚光を浴びる以前、福祉が前科のある人を避けてきたのは周知の事実であ

る。事業者にはその反省を踏まえての対応が求められるが、実際にはまだ十分な理解が得られていない上、人的、物理的な事情により適切な支援に結びつかないケースが少なくない。

このような中、私達社会福祉士は最大限の専門性を発揮して実践にあたらなくてはならない。しかし司法と福祉の領域は歴史的にはまだ浅いと言える。今後この領域でのソーシャルワークの更なる広がりが予想される中、互いに切磋琢磨して専門性を高めていく必要がある。よって、三重県社会福祉士会でも「司法と福祉の部会・委員会」を立ち上げることとなった。

事業名	日 時	内 容	会 場	参加者数等
第1回 (司法と福祉の部会「司法と福祉の部会立ち上げの集い」として開催)	11月14日(土) 14:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊藤会長の挨拶</li> <li>・参加者自己紹介</li> <li>・定着支援センター小野田所長をはじめ、実際に支援にあたっている方々から、司法と福祉の職業的な広がり状況を聞かせていただく。</li> <li>・部会の目的と将来的な展望について話し合い、日本社会福祉士会からの移管研修、定着支援センター主催の研修参加等していきたいとの話し合いがなされた。</li> <li>・以後の会議の開催時期、場所等について話し合う。</li> </ul>	三重県社会福祉会館 3階研修室	15名
第2回	12月9日(土) 14:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような部会にしていくか話し合う。まずは定着支援センターや刑務所での支援の現状、事例検討等について研修を行い、会員の理解を促すこととなる。</li> <li>・来年度の事業計画について話しあう。さし当たって研修計画等、仮のものを作ることになった。</li> <li>・事業計画に伴う予算生請求について説明を受ける。</li> <li>・部会員の役割について、部長を高山、副部長を山野さんとする。</li> </ul>	三重県社会福祉会館 3階研修室	9名

<p>第3回</p>	<p>2月11日(日) 14:00~17:00</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月8日の理事会にて委員会として認められる。リーガルソーシャルワークの移管研修を主導していくことが期待される。</li> <li>・小野田所長による講義「罪を犯した人をなぜ支援するのか」</li> <li>・各参加者より、定着支援センターとの関わりについて聞かせていただく。</li> <li>・2018年度事業計画、予算案について、別紙の通り説明を受ける。</li> <li>・次回の内容について話し合い、山田弁護士より法テラスでの支援について聞かせていただくこととなる。</li> </ul>	<p>三重県社会 福社会館 3階研修室</p>	<p>11名</p>
------------	---------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------	------------